



---

アートディレクション

## K&FACTORY アートと建築の試み

古来、西洋、東洋を問わず、アートと建築は一体であり、一つの建物に共存しているものでした。  
K&FACTORYは、アートの持つメッセージ性、楽しさ、文化性と、建築デザインをもう一度融合しようと考えています。



ミケランジェロ  
システィナ礼拝堂の天井画



ブルネレスキ  
フィレンツェ/花のクーポラ



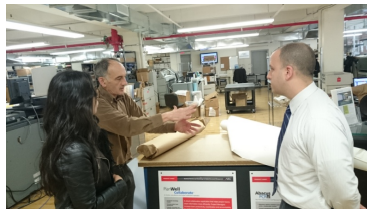
二条城の襖絵



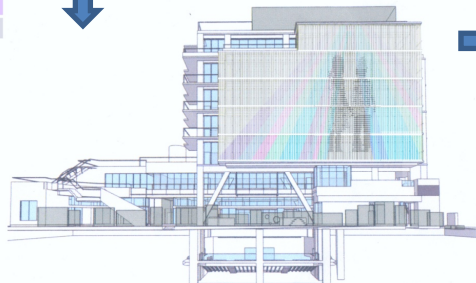
桂離宮/造園と建築  
造園もまたアートである

## アートの建築化の流れ

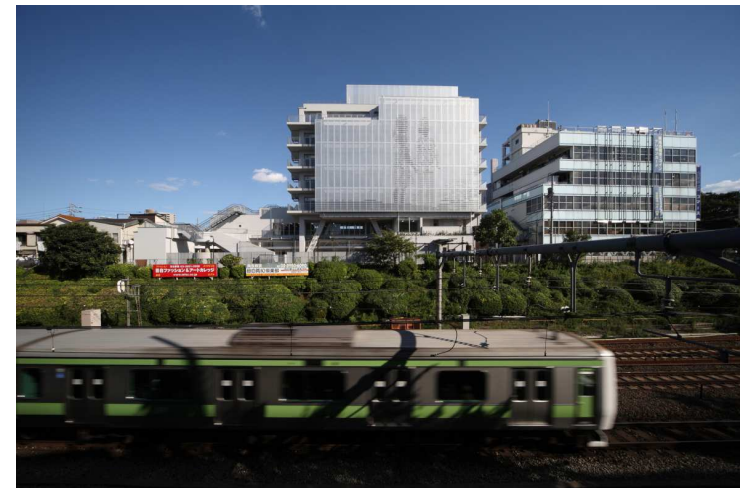
実際にアートを建築化するには技術的に解決する要素も多く、以下のような流れになります



その場所や機能に合ったアートを  
アーティスト、建築家と共に提案する



アートを実際に建築に  
組み込むためのディレクショ  
ン、技術検討、工事スケ  
ジュール等のアートマネジメ  
ント



現場工事を終え、アートが現実化し建築と一体化する

施主、アーティスト、建築家を交えて  
ドローイングを元に検討



ジョナサン・ポロフスキーによる作品「シンギングマン」スピーカーが内蔵され歌を歌う。巨大な彫刻のため基礎から対応した。円形劇場に対峙する。

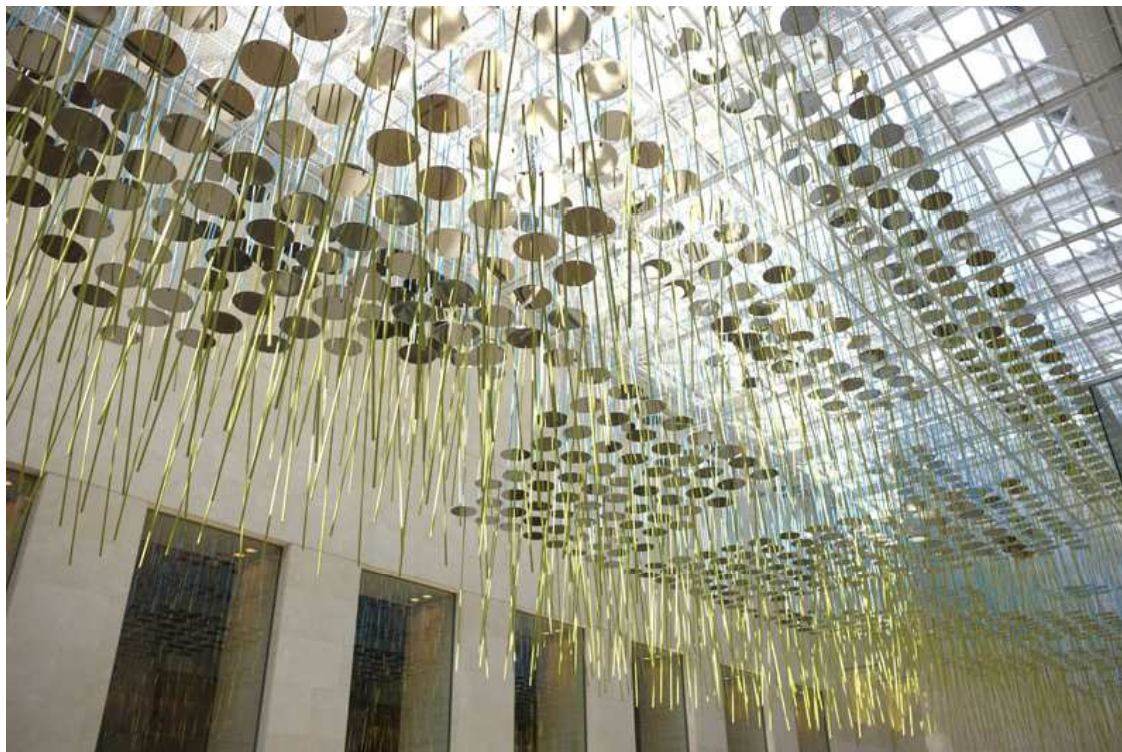
東京オペラシティの  
パブリックアート

1990-1995

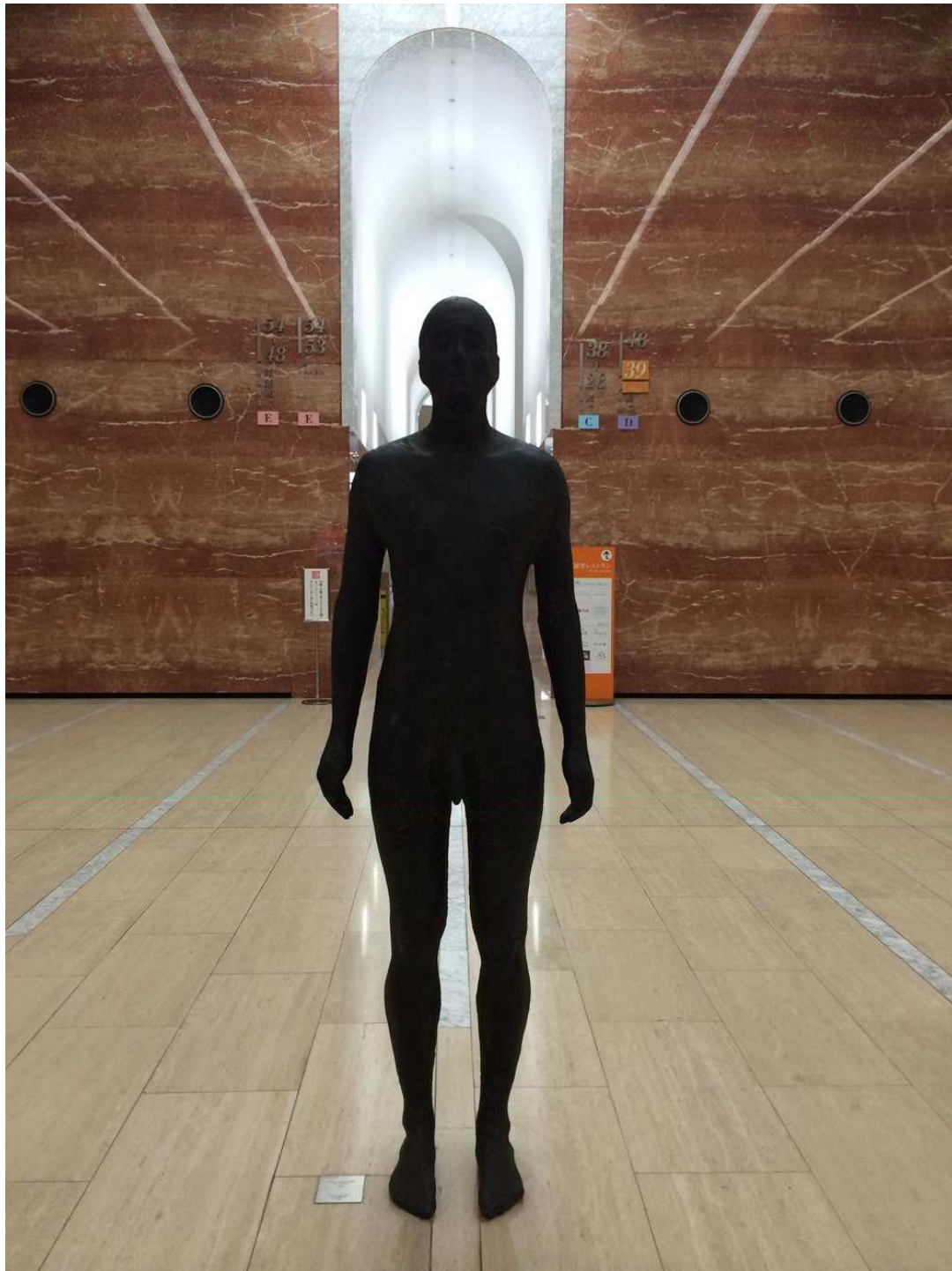
竹中工務店にて

竹中工務店時代、東京オペラシティにて、アートの設置対応を担当した、これが、私（古宇田）がパブリックアートに目覚めるきっかけだった。

全体のアートディレクションは小池一子さんが担当、NTTファシリティーズの林所長とTAK柳沢孝彦代表がディレクションしている。



アトリウムには川上喜三郎の作品が吊るされた。草原と空をイメージしている。アトリウムの遮光にも寄与している。



オフィスロビーにはアンソニー・ゴームリーの作品。エレベータホールを挟みもう一つの像と対峙する。

東京オペラシティの  
パブリックアート

1990-1995

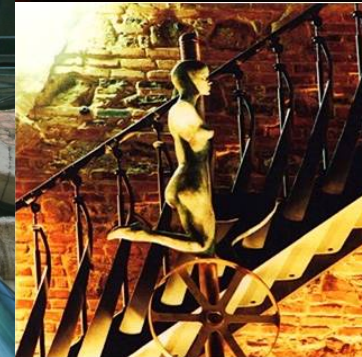
竹中工務店にて



TAK柳沢孝彦代表は東京芸大出身で現代美術が大好き。スタッフとして働く中で小池一子氏とのアートディレクションを楽しんでいたことが伝わってきた。

ギャラリーの階段には宮島達男氏のデジタルアートと山口勝弘氏の音の彫刻が埋め込まれた。





The Wall

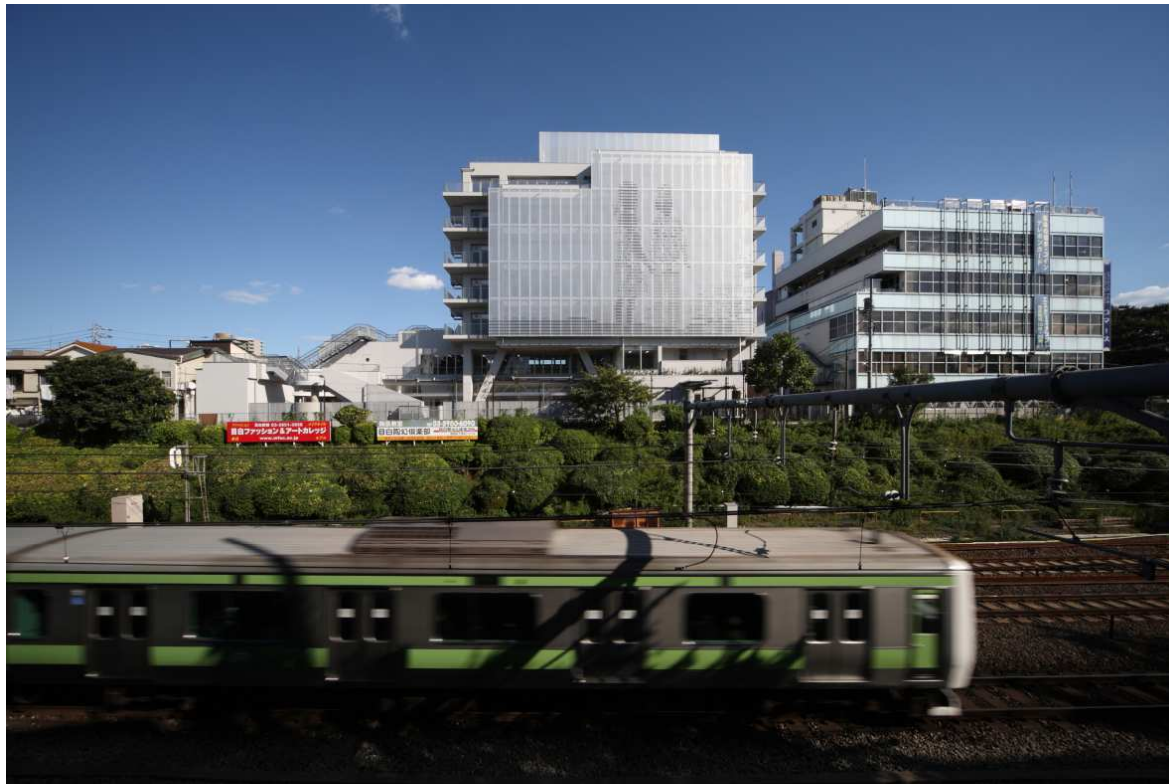
1990

バブルの時代に多くの外国人建築家が日本を訪れて仕事をしたが、その象徴的かつ頂点の建築が英国の建築家ナイジェル・コーツがデザインした、ザ・ウォールである。

細部までこだわり抜かれた形態や英国人ならではの鉄の扱い、数多くのアーティストの作品をコラボレーションするよう外部、内部に構成するなど、当時の日本建築にはないデザインが建物全体に施された。

鈴木はイタリアから来たレンガ職人をナイジェルの下で指揮するなどこの建物のアートディレクション及びゼネコン等との建築的な調整を行った。

この建物は西麻布の交差点近くに立ち、今もこのエリアのランドマークとして強烈な存在感を放っている。



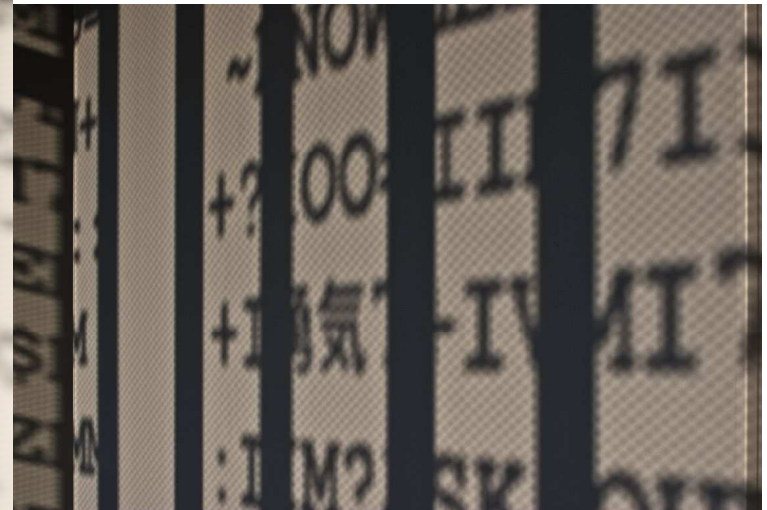
和田実学園-目白本館  
アートディレクション

2009-2010

和田実学園のパブリックアートについて

和田実学園は山手線沿い、目白駅前の絶好な場所に位置する。JRに面する西側外装に象徴的なデザインを施すことを意図した。

アーティストでグラフィックを得意とするリッキー・カソ氏を外装アーティストとして学園理事の門山辰也氏と選定した。



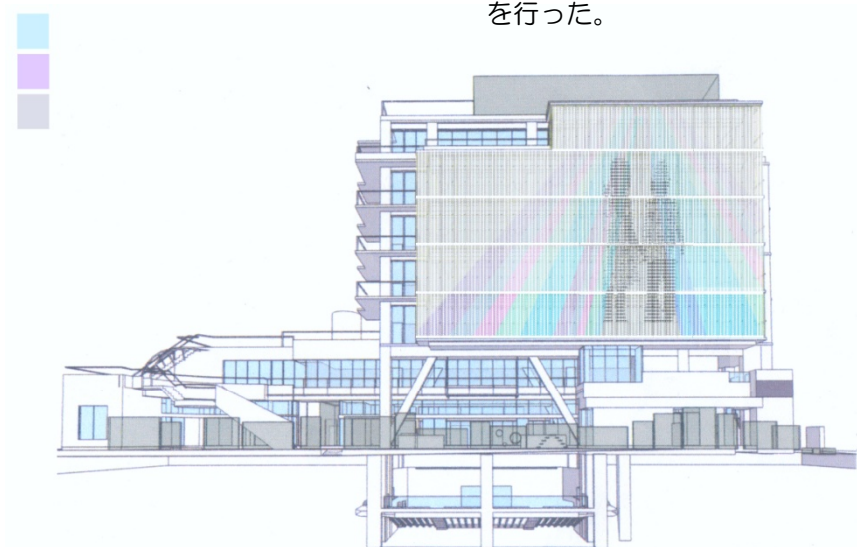


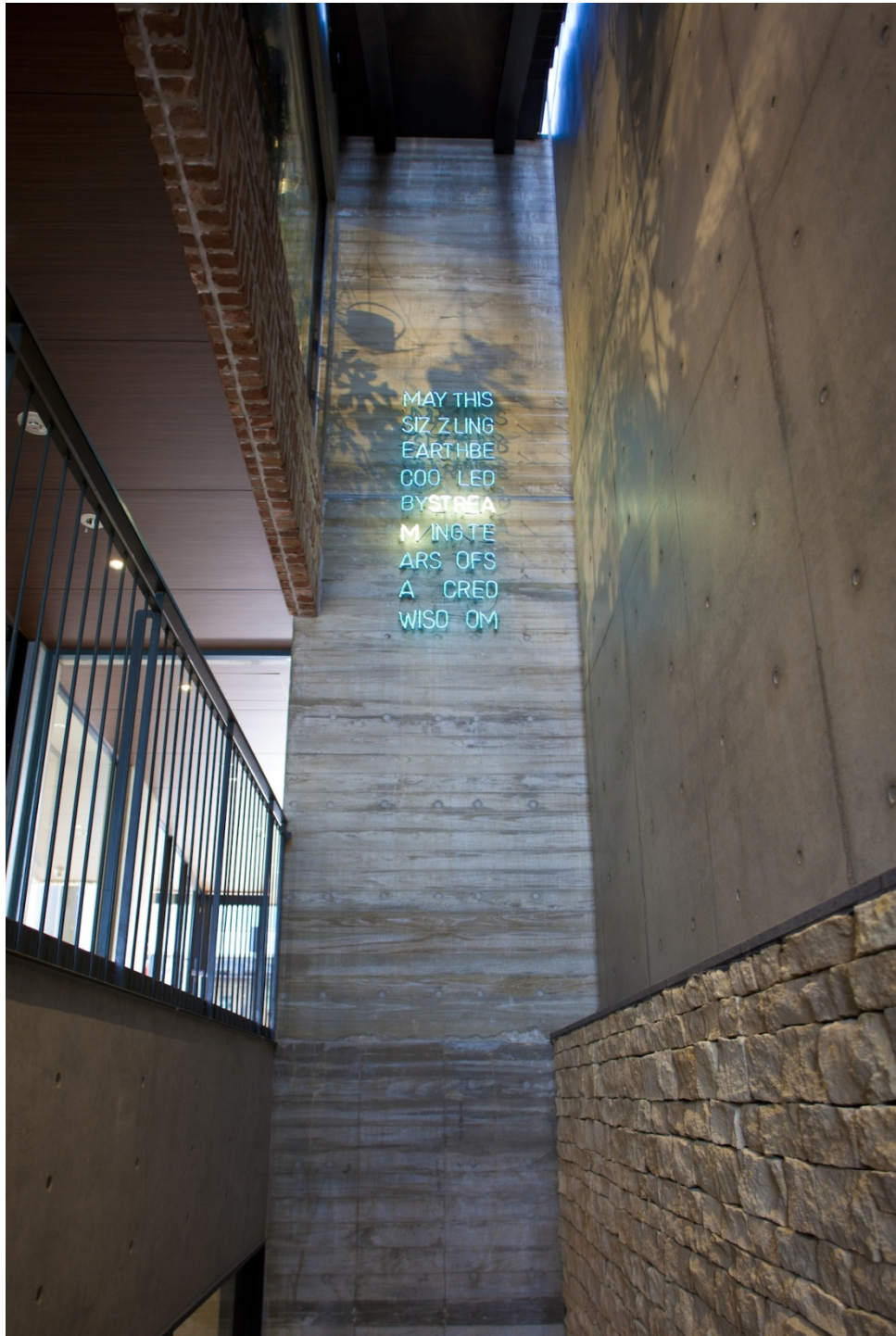
和田実学園-目白本館  
アートディレクション

2009-2010

左上はデザインのベースになった写真、カソ氏自身が井の頭公園で撮影したものだ。これを彼は世界最大級のアスキーアートに変換した。このデザインをベースに、文字を図面化し、レーザー加工で切り出し、一枚ずつベースとなるパンチングメタルのファサードに貼りつけることにした。アートの実際の製作と加工は鉄工所をベースにデザインも行う「EXITデザインワークス」が行った。

K&FACTORYは、これら全体のアートの実現化、ディレクションを行った。

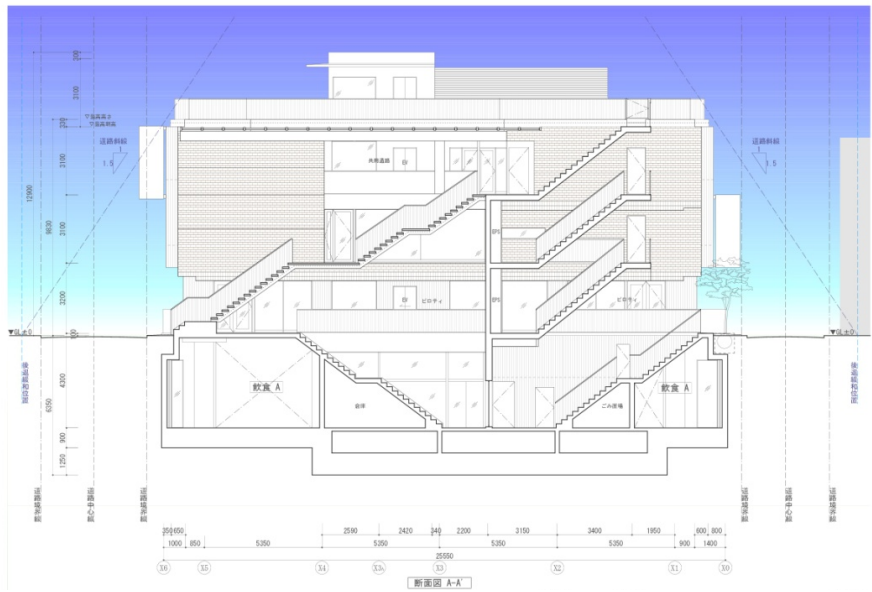




Stream Futako  
Tamagawa

2012-2014

Stream Futako-Tamagawa  
について、設計企画コンペ時から、パブリックアートによる街区の活性化を提案の骨子としており、設計者として選出された直後から、アーティストの選定を行い、結果として二人のニューヨーク在住アーティスト、ジョン・デ・ルッカ氏のネオンアートと、ピーター・フェンド氏の地図のアートを提案し、クライアントに了承され、アートプロジェクトがスタートした。



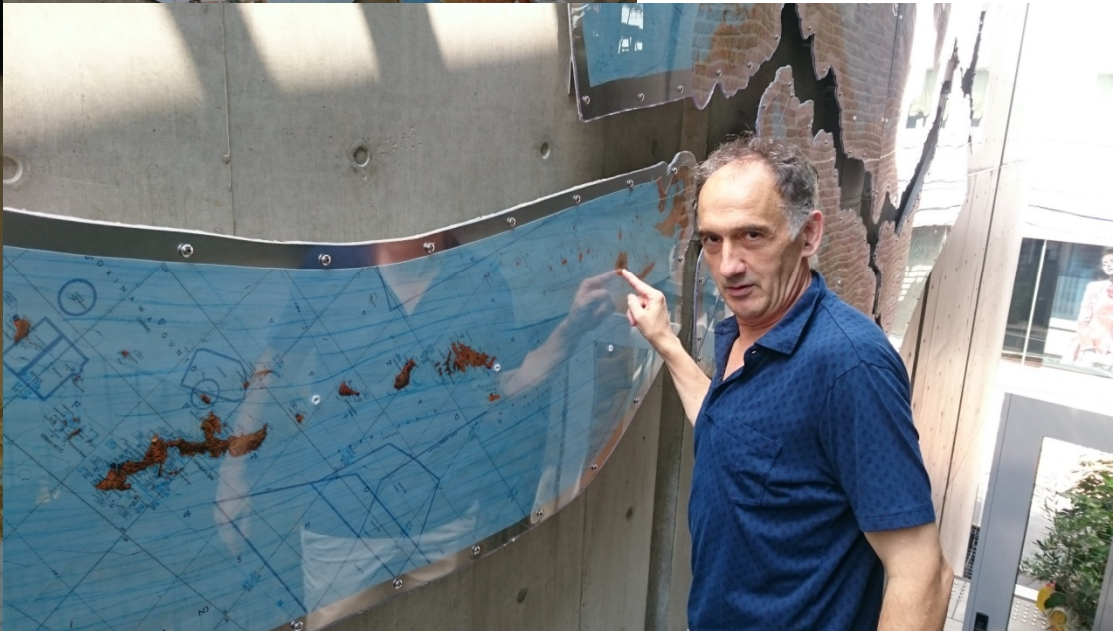


Stream Futako  
Tamagawa

2012-2014

ピーター・フェンド氏の作品は、地図を使ったアートで世界に知られているが、その地図のアートを、半屋外であり、人の手が触れる場所である屋外階段に面して設置するという、これまでにない試みとなった。

現実化する手法として、下地にアルミニウムパネル、表側の保護としてポリカーボネイト板でサンドイッチし、地図自体も特殊な溶剤でコーティングするという手法を編み出した。





イタリアンレストラン/ソリーゾ  
デザイン  
アートディレクション

2009-2010

イタリアンレストランのアートディレクション  
気鋭のアーティストを中心に作品をセレクトし、インテリアの雰囲気に合わせて効果的に配した。

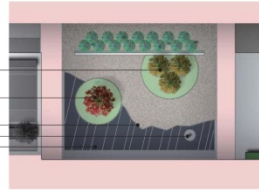
- a) 作品名：GREEN PEACE LOVE  
アーティスト：ROBERT INDIANA
- b) 作品名：HALF AWAKE, HALF ASLEEP  
アーティスト：MAKI KAORU
- c) 作品名：NEW OCEAN  
アーティスト：DOUG
- d) 作品名：UNTITLED (Triptych)  
アーティスト：ROMAN SIGNER
- e) 作品名：COFFEE BREAK  
アーティスト：MUZACK
- f) 作品名：ENOLA GAY  
アーティスト：Ivory Serra



紅葉の中庭-1 AUTUMN-LEAF COURT

- ①中庭全体を「池」に見立てたモダンな枯山水
- ②「モミジの島」、「シャラの島」、「筑波石の島」を配置
- ③筑波山の方角に向き、稜線を描く御影石

シャラの島  
モミジの島  
筑波山の稜線  
筑波石の島  
筑波山の方角を向く御影石



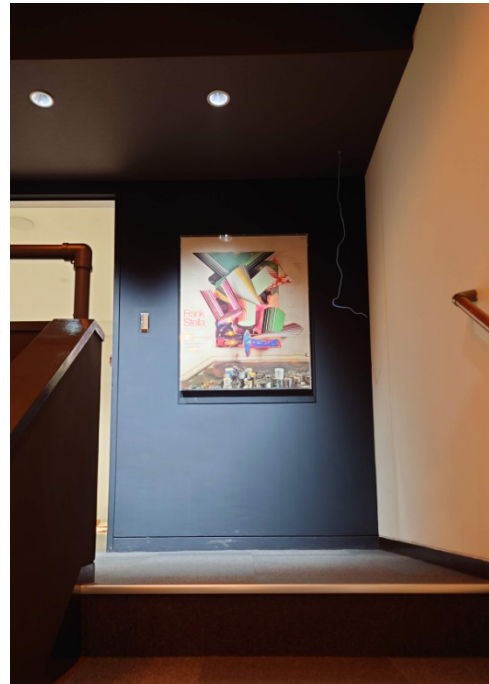
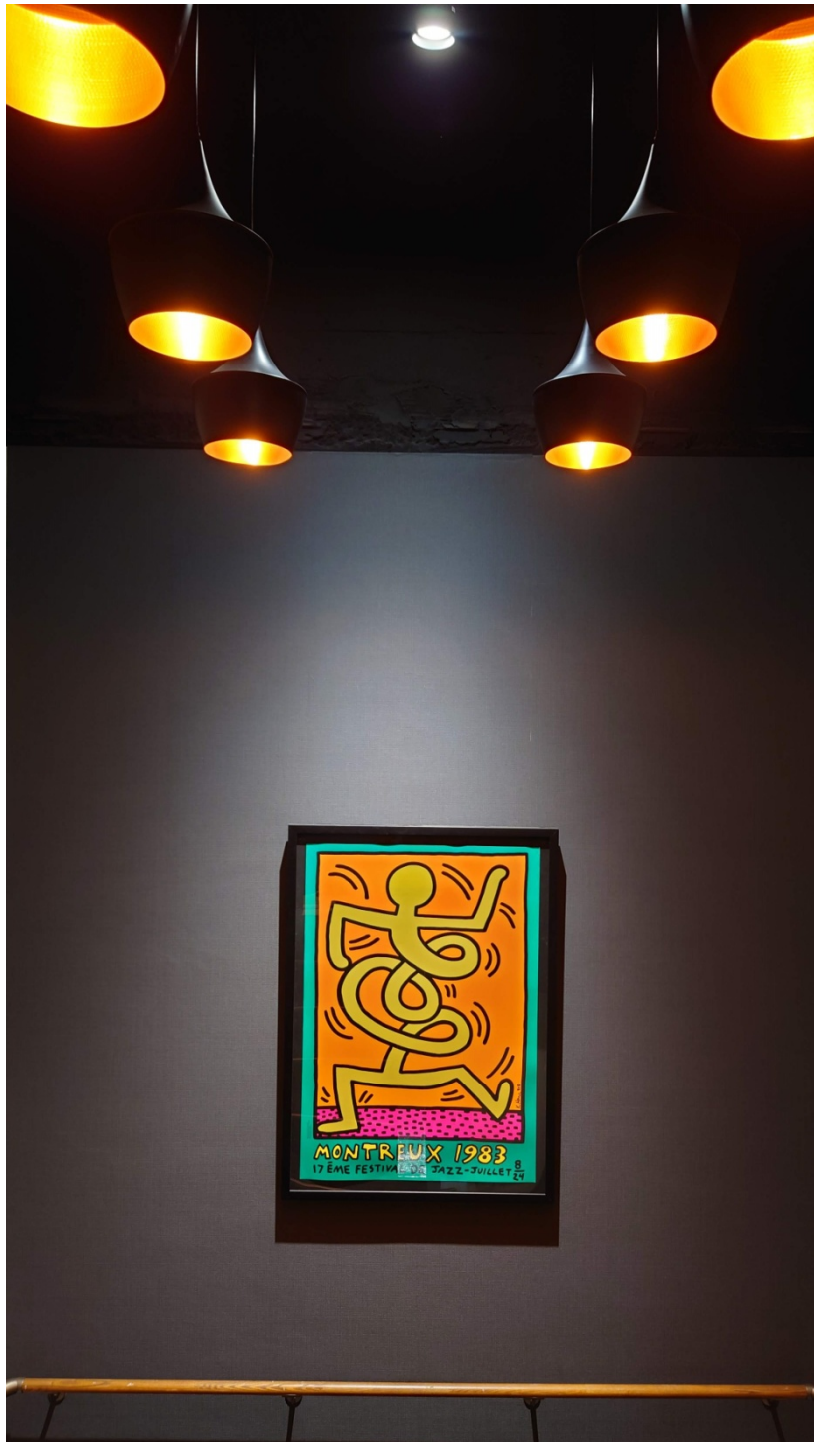
総合病院  
アート&デザイン

2016

400ベッド数の総合病院の設計と合わせてアートディレクションとデザインをランドスケープ事務所「未来風景舎」と協働した。

中庭やエントランスホールに象徴的なランドスケープデザインやアート、照明を配置し、歴史ある病院のグレード感を表象する。





影山工務店本社  
デザイン  
アートディレクション

2021

影山社長のコレクションの中から、現代美術のヴィンテージポスターを一堂に展示し、これを中心に空間の区画を構成した。大きく湾曲する壁を組み合わせることで、空間にダイナミックなボリューム感を加えると共に、効果的に展示されたアートが知性豊かな空気感を産み、来訪者に強い印象を与える事に成功している。

OFFICE [A] PLAN

